

GW  
山行

赤坂山、三國山、野坂山地



山上でいただく

# お抹茶の味は極上

比良雪稜会（滋賀）伊東 秀二

2008年4月29日（祝）  
リーダー：西村高行  
参加者：会員21名、一般31名

## 公開野点山行

比良雪稜会では毎年春と秋の2回、一般を対象にした野点山行を行っている。無理のないコースを選定し、山上でゆったりと抹茶を

味わうことを通して一般参加の人に、一つの山の楽しみ方を提案している。毎年継続していることで徐々に地域に根付き、毎回参加される方もいる。

前日に事務所へ集まり、お茶道具の確認、お茶葉子の袋詰め、班

明王の壳の岩稜の横を登って行く







西村高行リーダー(手前)とカップラーメンを食べる筆者



可憐なカタクリの花に歓声が



## 日本最低高度の分水嶺

本州の太平洋と日本海を分ける分水嶺で、最も標高が低い部分が滋賀と福井の県境に連なる野坂山地である。標高 800m 前後のなだらかな峰が連なっている。冬期、ここを通過した雪雲が時に、岐阜、関が原、米原あたりに大雪を降らせる。標高が低いとはいえ、ここにも雪雲はたっぷり雪を落としていく。なだらかで広い尾根は冬には大雪原となり、山スキーやスノーシュートレッキングに良いフィールドとなる。ただ冬期に入山する際には低山と侮ることなく、豪雪地帯であることを認識して計画して欲しい。

登山口には、マキノ高原温泉「さらさ」、白谷温泉があり、下山後は温泉で汗を流した後に、新日本街路樹百選に選ばれたメタセコイアの並木を歩くのもお勧めだ。一直線に延びる並木道は見事である。マキノ高原には栗園が広がっており、10月には健康栗マラソンも開催されている。

別に名札の作成、当日の役割分担の確認を行い準備完了。翌日は好天との予報で準備も苦にならない。

今回のコースは、マキノスキー場を起点に粟柄越から福井県境を辿り、赤坂山、明王の禿、三国山を越えて黒河峠まで縦走するコースである。広い尾根のゆったりとしたコースだが、花崗岩が風化して出来た明王の禿の荒々しい岩稜がこのコースを引き締めている。春はイカリソウ、オオバキスミレ、

カタクリ、イワウチワ等の花が目を楽しませてくれる。

4月29日は予報通りに快晴と班に分け、会員が一般参加者の中に入りサポートする。リーダーを先頭に、花の観賞、写真撮影、また県境の尾根からは南に琵琶湖、北に日本海を望みながら、ゆっくり進む。明王の禿と三国山の中間あたりの広くなだらかなところ

で、昼食後に野点を行う。女性会員が抹茶を点て、男性会員は参加者にお茶とお菓子を配る。一般の方にお茶が行き渡ったところで我々会員もお茶をいただく。山上でいただくお茶の味は格別だ。湖南岳友会会員も特別参加し、自慢の手料理を振る舞って貰った。これもまた美味しい。縦走の最後は美しいブナ林が迎えてくれる。

山行を終了し別れ際に「お疲れ様でした」「ありがとう」ございました」と声を掛け合う光景はとても爽やかだ。今回も本当に良い山行となった。